

修士論文（特定課題研究報告書） 作成要領

※ 知能機能システム学位プログラムの修士論文は、作成要領が異なります。

1. 用紙・寸法

A4 縦版。ページ数の制限はありません。

2. 文字及び形式等

- 1) 原則として、和文または英文とし、パソコンにより作成してください。
- 2) 修士論文中、本文の文字色は黒。ただし、図やグラフ、並びにそれらの中で使う文字は、必要に応じてカラーも可とします。

3. 表紙

下図と Word 及び Latex の様式を標準とし、作成してください。

筑波大学大学院博士課程 理工情報生命学院 システム情報工学研究群修士論文	← 正しくタイプしてください。 「博士前期課程」と記載している ものは、作成し直しとなります。
論文題目	
氏名 修士(〇〇) (〇〇〇〇学位プログラム) 指導教員 筑波大二郎	
20XX年X月	← 注意事項2. に従ってください。

【注意事項】

1. 指導教員は正規の指導教員 1 名のみを記入してください。
2. 表紙日付は、学位取得予定年月（月は 9 月、または 3 月）を記入してください。

《Q&A》

1	Q	他の人と同じではイヤなので、ほんの少し変えてオリジナルにしても良いですか？
	A	論文題目にアンダーラインや、枠を入れる方がいますが、上図のイメージに従ってください。必要事項のみ記載してください。従っていない場合は作り直しとなります。
2	Q	私は博士前期課程なのに、どうして『博士課程』と記載するのか？
	A	システム情報工学研究群は『博士課程』です。更に詳しく表す場合に前期・後期に区分します。本表紙の表示は、博士前期課程でなく『博士課程』が正しいです。
3	Q	表紙の西暦と月は、論文の提出月を記入しても構いませんか？
	A	本研究群では、月の記載方法を『学位を取得する月』を入れることに決めています。従いまして、提出月を記載された場合は作り直しとなります。
4	Q	私は『特定課題研究報告書』を作成するのですが、どうすれば良いですか？
	A	情報理工学位プログラムまたはリスク・レジリエンス工学学位プログラムに所属する学生が特定課題研究報告書を提出する場合、研究群タイトルの「修士論文」の箇所を『特定課題研究報告書』に変更記載してください。

特定課題研究報告書を提出する者は
【修士論文】の部分が
【特定課題研究報告書】になっているか確認。

筑波大学大学院博士課程
理工情報生命学術院
システム情報工学研究群 修士論文

筑波大学大学院理工情報生命学術院
システム情報工学研究群
における修士論文の書き方

筑波太郎

修士 (〇〇〇〇)

(〇〇〇〇学位プログラム)

学位名の記載が必要です。
必ず記載してください。

指導教員 筑波大二郎

学位取得予定年月
(月は9月又は3月)

20XX年 3月

筑波大学大学院博士課程
理工情報生命学術院
システム情報工学研究群修士論文

筑波大学大学院理工情報生命学術院
システム情報工学研究群
における修士論文の書き方

筑波太郎

修士 (〇〇〇〇)

(〇〇〇〇〇〇〇学位プログラム)

指導教員 筑波大二郎

副指導教員 水戸 花子【実質指導教員】

学位名の記載が必要です。
必ず記載してください。

20XX年 3月

学位取得予定年月
(9月又は3月)

概要

この文書は、筑波大学大学院理工情報生命学術院システム情報工学研究群の修士論文本体のサンプルである。このファイルを書き換えて、この例と同じような書式の論文本体を作成することができる。

このサンプルは、学生諸君が面倒な位置決めをして表紙を作成する手間を軽減するために提供している。もちろん、このサンプルで示す表紙は例であり、要項に準拠していれば、このファイルに頼らずに自分で表紙の位置決めを行ってもよい。

目次

第1章	はじめに	1
第2章	形式	2
2.1	表紙	2
2.2	本体	2
	謝辞	4
	参考文献	5

図目次

図 2-1	図の例	3
-------	-----	---

第1章 はじめに

研究の内容や分野によっては書き方が異なる場合もあるので、詳しいことは指導教員に聞くとよい。この文書は主にタイトルの作成方法と、論文の体裁を示すのみであり、どうやったらよい論文になるかの示唆は含まれていない。

第2章 形式

ここでは、論文の表紙および本体の記述方法について述べる。

2.1 表紙

表紙には、題目、著者名、学位名、学位プログラム名、指導教員名、年月を記述する。

2.2 本体

本体は1段組で記述する。

図表には番号と説明(caption)を付け、文章中で参照する。表 2.1 と図 2.1 はそれぞれ表と図の例である。表の説明は上に、図の説明は下に書くことが多い。Microsoft Word ではビットマップ形式、GIF 形式、JPEG 形式および PNG 形式など、色々な形式の画像ファイルをインポートして Word 文書内に貼りこむことができる。

表 2.1 表の例

年度	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
1995	85	92	86	88
1996	83	89	90	102
1997	88	87	91	102
1998	144	93	90	115

詳しくは Microsoft Word のヘルプなど [1]を参照のこと。

参考文献には番号をつけ、文章中で参照する。具体的な論文としての文献参照例として [2]を挙げておく。

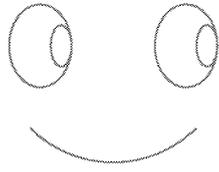


図 2-1 図の例

謝辭

参考文献がある場合には、
必ず作成してください。

参考文献

[1] Steve Ballmer, Jim Allchin and Bill Gates, OfficeXP: Advanced Technique and Experiments of Office Soft wares, Journal of Microsoft Product Information, Vol. 3, Number 2, pp. 129-138, November 2000 (fictitious paper).

[2] Randal E. Bryant, Graph-based algorithms for Boolean function manipulation, IEEE Transactions on Computers, Vol. C-35, No. 8, pp. 677-691, August 1986.

【別記様式1】学位論文審査願 記載例

別記様式第1号（第3項関係）【博士課程前期】

※オンライン提出のため押印省略

学位プログラム ムリーダー印	指導教員印

(※研究群長印省略)

学位論文審査願

論文提出日を記入

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

理工情報生命学術院長 殿

申請者本人の押印は必要ですので、
押印の上、スキャンしたPDFデータ
をアップロードしてください。

筑波大学大学院博士課程理工情報生命学術院
システム情報工学研究群 ○○○○○○学位プログラム
平成 or 令和○○年度 入学 学籍番号 20XXXXXX

氏名 ○○ ○○ 印

国立大学法人筑波大学学位規程第4条の規定により、修士（○○）の学位論文に下記の書類を添えて提出しますので、審査願います。

学位名を記入

記

- | | |
|----------------|-----|
| 1. 論文概要 | 1 通 |
| 2. 論文目録 | 1 通 |
| 3. 履歴書 | 1 通 |
| 4. 論文公正に関する確認書 | 1 通 |

筑波大学	受理番号	※記入しないで ください	課程博士
------	------	-----------------	------

【別記様式2】論文概要 記載要領

「年度」とは・・・4月～翌年3月までを“一年”と考えます。
従って、9月学位修得者は当年を記入。3月学位修得者は、年が変わっても前年の年数を記入してください

必ず記入してください

(学籍番号 20XXXXXXX)

理工情報生命学院システム情報工学研究群修士論文概要

年度	令和 ○○ 年度	学位名	修士(○○)
学位プログラム	○○○○○	学位プログラム	著者氏名 筑波 太郎
指導教員氏名 筑波 大二郎			
論文題目 (例)The Example of Thesis at the Graduate School of Science and Technology (筑波大学大学院理工情報生命学院における修士論文の書き方)			
論文概要			

学位名を記入ください

注意事項

1. 学籍番号は論文提出時には必ず記入してください。
2. 指導教員氏名欄には主指導教員名のみ記入してください。
※社会工学・サービス工学学位プログラムは実質指導教員まで記入。
3. 英文の題目には()を付して和訳を記入ください。
4. 文字の大きさは10ポイントを基準とし、1ページにおさめてください。

※オンライン提出に用いるシステムの提出ログをもって本人証明とし、これを押印又は署名の代わりとする。

【別記様式3】論文目録 記載要領

別記様式第3号

論文目録

注意事項 1項を遵守ください。

筑波大学

博士課程理工情報 生命学院システム 情報工学研究群	○○○○○○○○○ 学位プログラム	学籍番号 20XXXXXXXX	氏名 ○○ ○○
1. 【論文題目】	The Example of Thesis at the Graduate School of Science and Technology (筑波大学大学院理工情報生命学院における博士論文の書き方)		
2. 【印刷公表の方法および時期】	注意事項 2、6、7項を遵守ください		
[例] 本論文の主要部分は参考論文に示した論文で公表済みであり、さらに下記の論文として投稿中である。			
(1) 筑波太郎, 土浦花子, 「制約充足問題の多項式時間全解探索について」, 人工知能学会誌			
3. 【参考論文】	注意事項 3、5、6、7項を遵守ください		
[例] 本論文の主要内容は、下記(1),(2)として公表済みであり、さらに、(3),(4)の論文が公表予定である。			
・ 公表済み論文			
(1) Taro Tsukuba and Hanako Tsuchiura, “A Frequency Domain Repetitive Control Algorithm for Robot Manipulators”, Proc. of the 2nd Motion and Vibration Control Conf, Yokohama, Aug, 2007, pp.12-20			
(2) 筑波太郎, 「○○○○○○○○○○に関する研究」, 日本○○学会誌, Vol.20, No.2, 2006, pp.234-241			
・ 採録決定論文			
(3) Taro Tsukuba, “Implementation of Distributed Robot Control Systems with Transputers”, Trans. of the SICE (計測自動制御学会論文集), (Vol.7, No.4 採録予定)			
(4) 筑波太郎, 土浦花子, 「制約充足問題の多項式時間全解探索について」, 人工知能学会誌, (採録決定)			
4. 【その他の論文】	注意事項 4、5、6、7項を遵守ください		
[例]			
・ 公表済み論文			
(1) Taro Tsukuba and Hanako Tsuchiura, “.....”			
・ 採録決定論文			
(2) 筑波太郎, 「.....」			
・ 査読のない発表論文			
(3) 筑波太郎, 土浦花子, 「.....」			

注意事項

1. 英文の題目には () を付して和訳を記入ください。
2. 【印刷公表の方法および時期】では、学位請求論文に関連があり、単著もしくは共著の投稿中の査読付き論文のみ記入ください。
3. 【参考論文】では、学位請求論文に関連があり、単著もしくは共著の公表済み、または採録決定した査読付き論文を記入ください。
4. 【その他論文】には、下記の論文を【参考論文】にならって記入ください。
(1) 学位請求論文に関連がなく、単著もしくは共著の査読付き論文
(2) 査読のない国内講演会等における発表論文
5. 【参考論文】では、“公表済み”または“採録決定した”論文の区別を、【その他論文】ではこれに加えて“査読のない”論文の区別をつけて記入ください。
6. 自分の名前に“下線”を引いてください。
7. 「論文目録記入要領」を参照し、作成してください。

【論文目録記入要領】

論文目録は、自分が執筆した下記の(a)~(d)に該当する単著もしくは共著の論文のリストです。これに該当する論文がない場合には、「1【論文題目】」のみ記入してください。

- (a) 既に公表された査読付き論文
- (b) 採録が決定された査読付き論文
- (c) 投稿中で採録未定の査読付き論文
- (d) 査読のない国内講演会等における発表論文

1【論文題目】

申請する学位請求論文の題目を記入する。英文の題目には（ ）を付して和訳を記入する。

2【印刷公表の方法および時期】

申請する学位請求論文に関連があり、上記の(c)に該当する論文を記入する。

[例]

本論文の主要部分は参考論文に示した論文で公表済み・公表予定であり、さらに下記の論文として投稿中である。

- (1) 筑波太郎, 土浦花子, 「制約充足問題の多項式時間全解探索について」, 人工知能学会誌

3【参考論文】

申請する学位請求論文に関連があり、上記(a)、(b)に該当する論文を(a)、(b)の区別をつけて記入する。

[例1]

本論文の主要部分は下記参考論文の(1)~(2)として公表済みである。

・公表済み論文

- (1) Taro Tsukuba and Hanako Tsuchiura, “A Frequency Domain Repetitive Control Algorithm for Robot Manipulators”, Proc. of the 2nd Motion and Vibration Control Conf, Yokohama, Aug, 2007, pp.12-20
- (2) 筑波太郎, 「○○・・・・に関する研究」, 日本○○学会誌, Vol.20, No.2, 2006, pp.234-241

[例2]

本論文の主要部分は下記の論文として公表予定である。

・採録決定論文

- (1) Taro Tsukuba, “Implementation of Distributed Robot Control Systems with Transputers”, Trans. of the SICE (計測自動制御学会論文集), (Vol.7, No.4 採録予定)

[例3]

本論文の主要部分は、下記(1)として公表済みであり、さらに(2)の論文が公表予定である。

・公表済み論文

- (1) Taro Tsukuba and Hanako Tsuchiura, “Behavior of Misfit Dislocations in GaAs Epilayers Grown on si at Low Temperature by Molecular Beam Epitaxy”, Jpn. J. Appl. Phys., Vol.7, No.4, 2007, pp.23-30

・採録決定論文

- (2) Taro Tsukuba, “Implementation of Distributed Robot Control Systems with Transputers”, Trans. of the SICE (計測自動制御学会論文集), (採録決定)

4.【その他の論文】

申請する学位請求論文に関連のない査読付き論文を、上記(a)、(b)の区別をつけて記入する。または、上記で(d)に示す査読のない国内講演会等における発表論文を、その旨明記して記入する。論文の記載方法は、【参考論文】にならう。

【別記様式4】履歴書 記載要領

別記様式第4号

〔学位論文審査用〕
理工情報生命学術院様式

履 歴 書 (修士論文用)

* 氏名を手書きする場合は、楷書ではっきりと記入してください。

論文提出日を記入して下さい。

学籍番号	20XXXXXXXX	(令和〇年〇月〇日現在)
フリガナ	ツクバ タロウ	現住所 郵便番号 305-8573
氏名	筑波 太郎	茨城県つくば市天王台1-1-1
		e-mail xxx@xxx.xx.xx
自宅電話	(029) 853-XXXX	携帯電話 (090) XXXX-XXXX
年 月	学 歴 (大学以上(高専修了者は高専以上)) ※在学生は記入不要	
年 月～ 年 月 (卒業修了・退学・除籍・())	/	
年 月～ 年 月 (卒業修了・退学・除籍・())		
年 月～ 年 月 (卒業修了・退学・除籍・())		
年 月～ 年 月 (卒業修了・退学・除籍・())		
年 月～ 年 月 (卒業修了・退学・除籍・())		
年 月	職 歴 等 ※在学生は記入不要	
年 月～ 年 月	/	
年 月～ 年 月		

※オンライン提出に用いるシステムの提出ログをもって本人証明とし、これを押印又は署名の代わりとする。

【別記様式5】論文公正に関する確認書 記載

別記様式第5号

論文公正に関する確認書 Statement of Research Ethics

理工情報生命学術院長 殿

To: Executive Dean, Graduate School of Science and Technology

私は、提出した学位論文について、研究不正行為（捏造、改ざん及び盗用等）は行っておりません。

I confirm that there is absolutely no breach of research ethics (fabrication, falsification and plagiarism) on the submitted thesis.

論文題目

Title of the thesis

(例)The Example of Thesis at the Graduate School of Science and

Technology (筑波大学大学院理工情報生命学術院における論文の書き方)

指導教員

Supervisor

筑波 二郎

20XX 年 ○月 ○日

Date: (Year, Month, Day)

学位プログラム名

Name of Graduate Program

○○○○○○学位プログラム

学籍番号

Student ID Number

20XXXXXXX

氏名

Name

筑波 太郎

当該学位論文を剽窃チェックツール (iThenticate) により調査しました。

20XX 年 ○月 ○日

学生署名欄の日付より後の日付とする

指導教員(自署)

筑波 二郎

※オンライン提出に用いるシステムの提出ログをもって本人証明とし、これを押印又は署名の代わりとする。

※Since the submission log of the online submission system will be treated as proof of your identity, your seal and signature can be omitted.